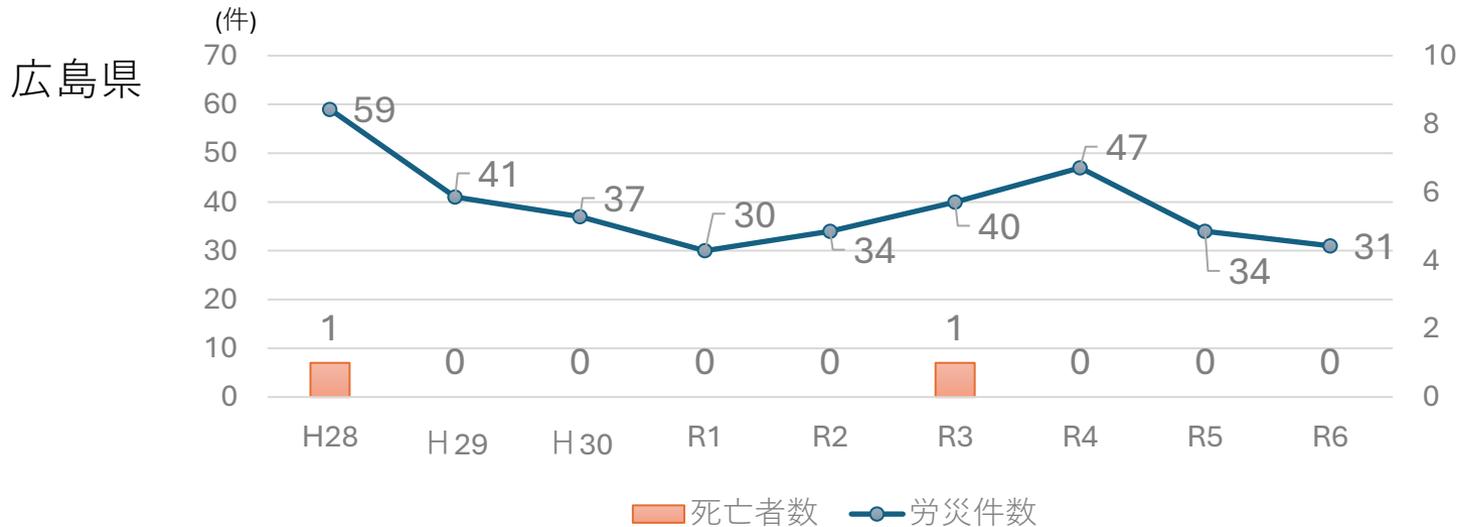
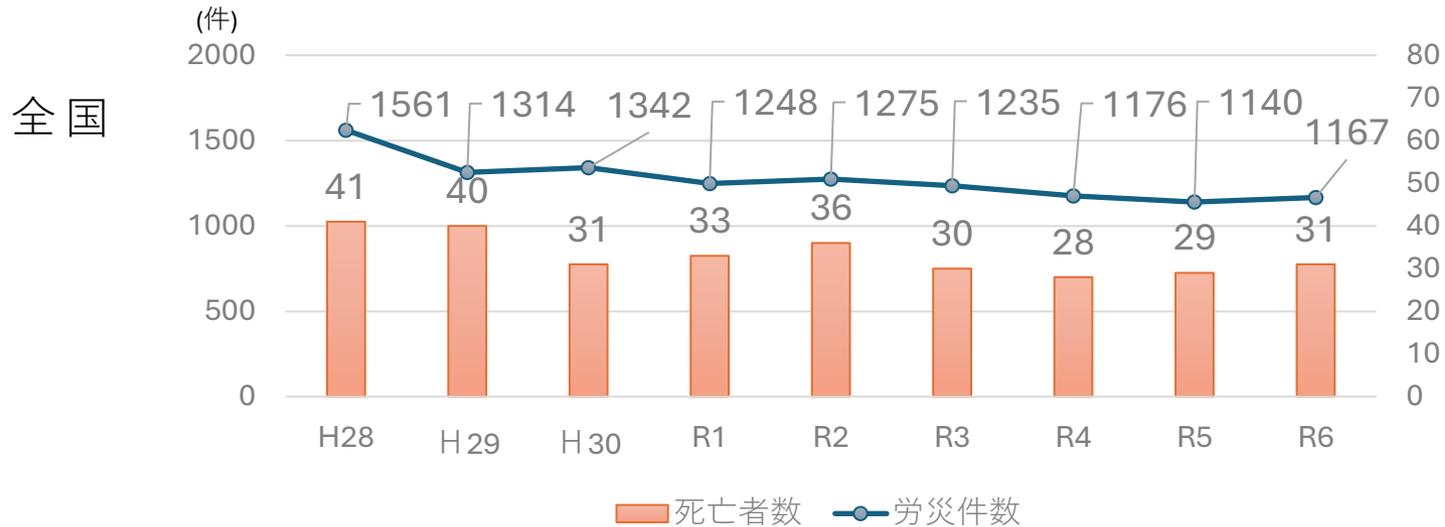


# 林業の労働災害防止に向けた 取組について

- 目次
- 1 林業労働災害の現状
  - 2 林業労働災害防止の支援
    - ① 林業労働安全管理改善支援業務
    - ② 労働安全に関する研修
  - 3 成果と課題

# I 林業労働災害の現状

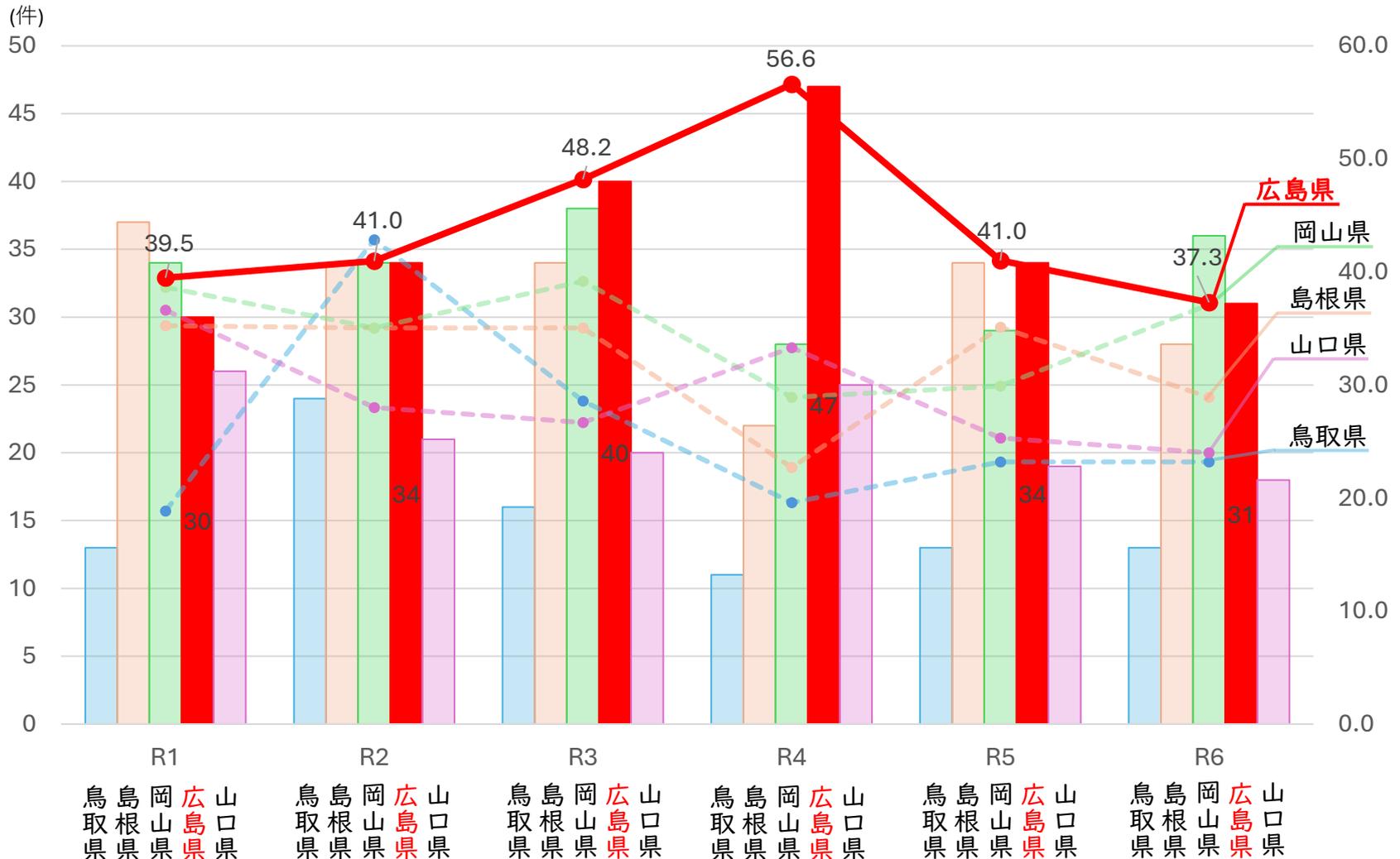
## ○全国及び県内の林業労働災害（休業4日以上）の発生件数



# I 林業労働災害の現状

○労働災害発生率は、中国5県の中でも多い。

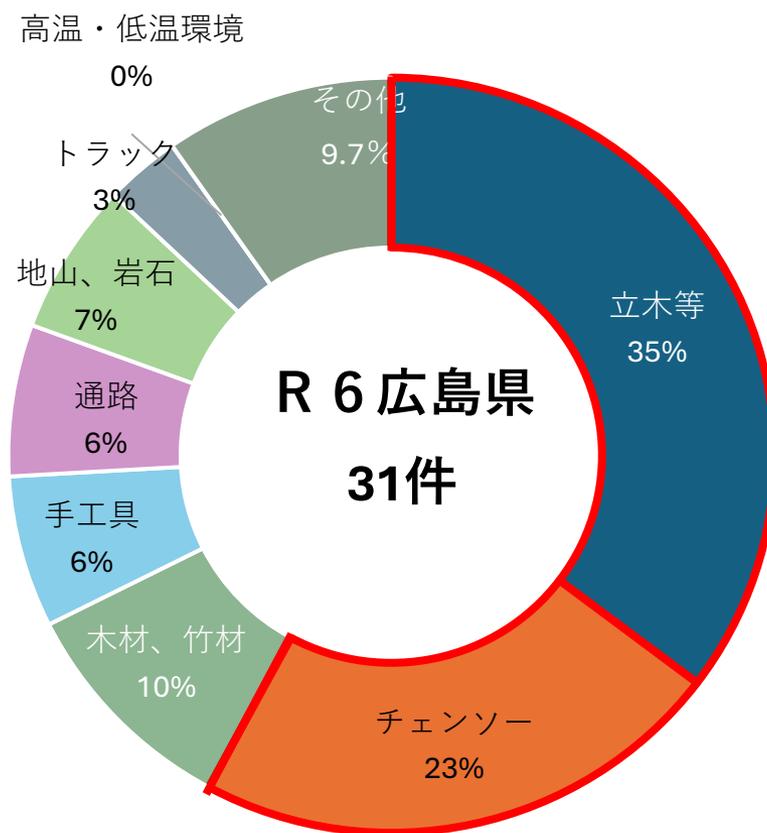
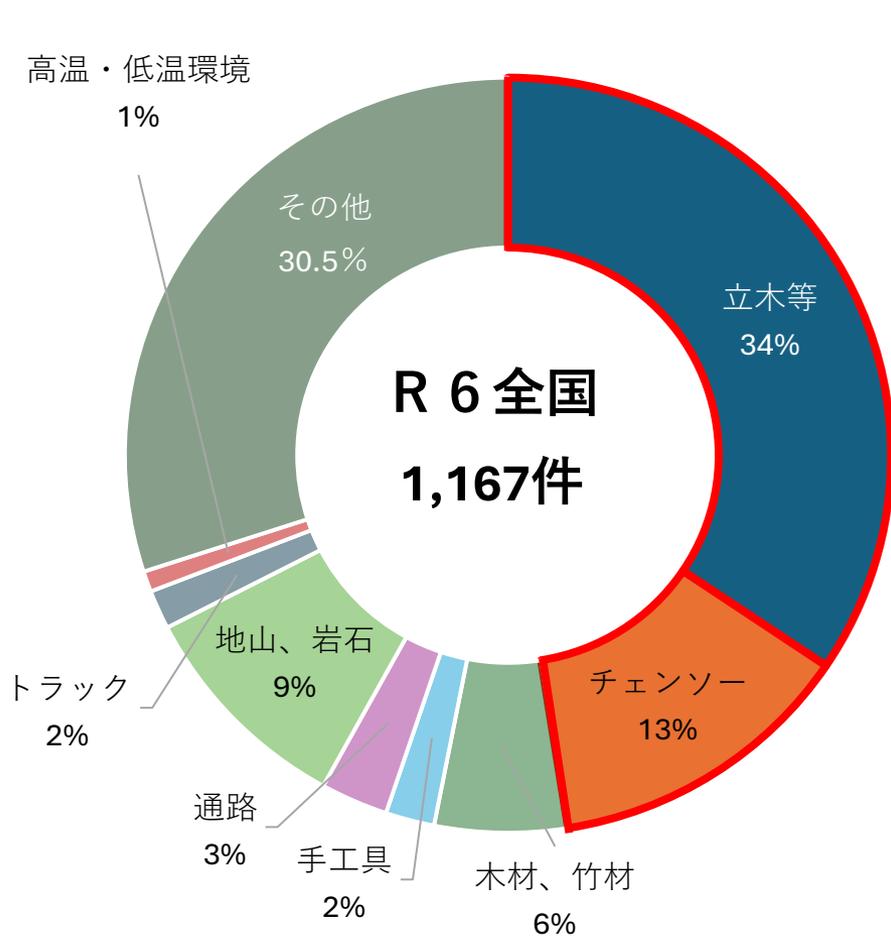
中国5県の労働災害発生件数及び千人率の推移



# I 林業労働災害の現状

## ○労働災害発生の起因物

伐倒等作業時の労働災害が全国・広島県共に多い



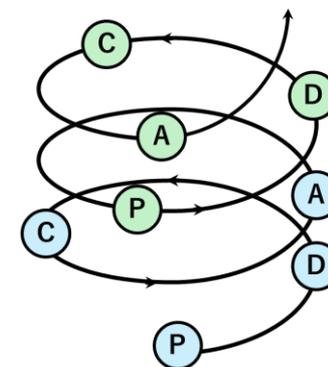
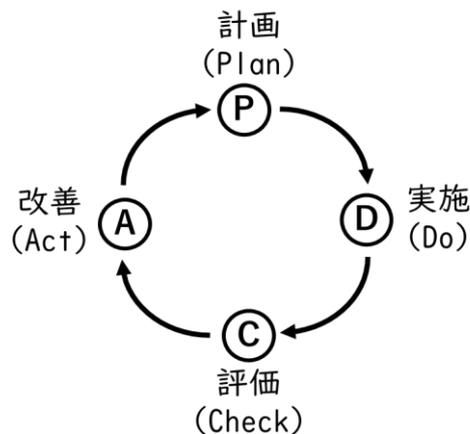
# 2 林業労働災害防止の支援

## ① 林業労働安全管理改善支援業務

### ◆ 現場職員参加型の作業手順書作成支援

作業手順書（一部抜粋）

作業の手順 (ステップ)	作業の急所 (安全、正確、やりやすく)	危険性または有害性 (~するとき、~なので、~して、~になる)	リスクの評価				リスク低減対策	対策後の評価		誰が
			可能性	重篤度	危険度	評価		危険度	評価	
追い口位置の確認と 追い口切りの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>受け口の高さの、下から2/3程度の位置を水平に切り込むことを基本的に切込み位置を確認し、追い口終わり部に目印をする</li> <li>ツルの「高さと幅」を調整することで、倒れる速度の調整と伐倒方向を調整する</li> <li>深さはツルの幅を伐根直径の1/10程度残すことを目安とする</li> <li>追い口位置の確認で決めた、追い口切り終わりの目印に向かい追切りを行う</li> </ul>	・対象木の重心の見極めが悪いと伐倒方向が変わり、他の作業者に激突する	△	×	△×	Ⅲ	・合図確認を徹底する	○×	Ⅱ	伐倒者
		・ツルを切りすぎ、伐倒方向が変わったことにより伐倒者に激突する	×	×	XX	Ⅲ	・追口伐りの印を徹底する	○×	Ⅱ	
		・追い口を入れすぎツルが残らず勢いよく倒れ伐倒者に激突する	×	×	XX	Ⅲ	・追口伐りの印を徹底する	○×	Ⅱ	



重大事故に繋がるヒヤリハットやケガ等が発生したら、PDCAスパイラルで作業手順書もレベルアップさせる。

## 2 林業労働災害防止の支援

### ① 林業労働安全管理改善支援業務

#### ◆ 現場パトロール同行による安全診断



- ・ 林業経営体の管理職員と安全コンサルタントが作業現場の巡回
- ・ 安全衛生点検表を用い、安衛法やガイドライン等に沿った作業現場であるかを評価し、改善事項があれば指導
- ・ 安全診断の内容(安全衛生点検表)をまとめ報告

#### ◆ 安全大会等の講話



- ・ 林業労働災害の現状や労働災害事例の解説と対策について
- ・ コンプライアンスについて
- ・ 熱中症対策について など

## 2 林業労働災害防止の支援

### ① 林業労働安全管理改善支援業務

#### ◆ VR機器等を活用した社内研修支援



【図1:VRシステム】

- ・ 図1のVRヘッドマウントディスプレイとチェーンソーハンドルコントローラを装備。
- ・ 写真①のように、実際に起きた伐木作業の労働災害を追体験
- ・ 写真②のように、グループで追体験した労働災害事例の発生原因や災害を回避する対策を考え、対策に対するリスクの評価



【写真①:伐木災害事例の追体験】



【写真②:発生原因や対策のグループワーク】



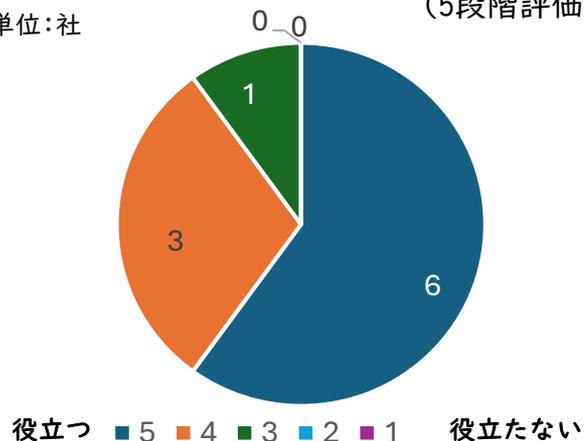
## 2 林業労働災害防止の支援

### ◆作業手順書作成アンケート

○業務の改善に役立ったか

(5段階評価)

単位:社



【評価の理由】

- ・自社で手順書を作成したが、的を射てない感じがあったため、支援を受けて良かった。
- ・これまでの作業を、客観的に再確認できたのが良かった。
- ・手順書を作成したことで、新規従業者等へ作業手順の周知や教育が行えた。

【評価3の考察】

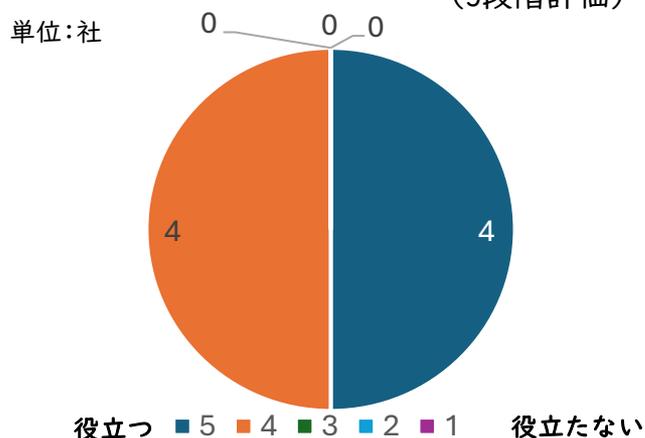
- ・作成した作業手順書の見直しや別工種を作成する際のフォローが不足。

### ◆安全衛生診断アンケート

○業務の改善に役立ったか

(5段階評価)

単位:社



【評価の理由】

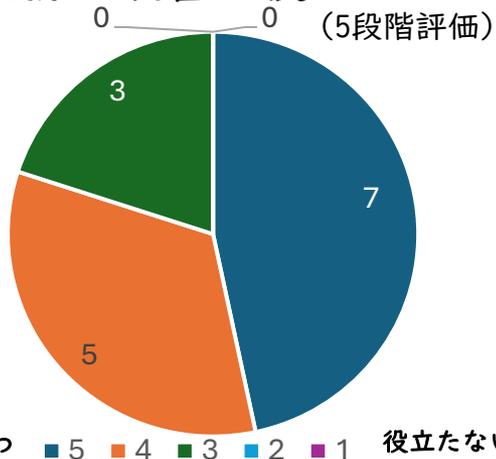
- ・コンサルタントからの法律に即した改善などの支援を受けることができた。
- ・自社の安全管理における弱点や課題が可視化できた。
- ・安全意識が高まり、ヒヤリハットが減少した。

## 2 林業労働災害防止の支援

### ◆VR機器を利用した労働災害追体験アンケート

○業務の改善に役立ったか

単位:社



【評価5・4の理由】

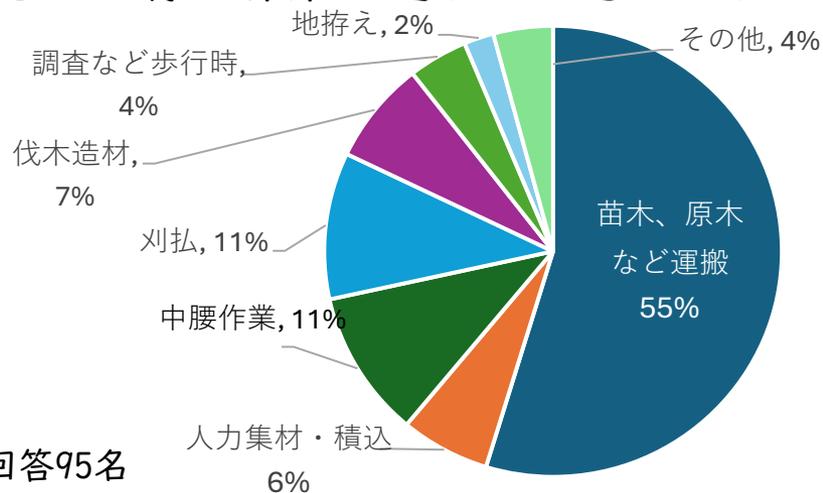
- ・ 現実で労働災害を体験することはできないため、体験を通じて突然発生する労働災害に恐怖を感じ、危機管理の重要性について改めて考えるきっかけとなった。
- ・ 事故事例と自身の体験を踏まえ、リスクについてグループワークで活発に議論することができた。

【評価3の理由】

- ・ 経験の浅い作業者が体験することは効果的です。一方で、ベテラン作業者は自身の経験に基づいて作業を行うことが多いため、その効果は薄いですが、作業時の確認意識を高める点では、一定の効果がある。

### ◆アシストスーツ試着体験アンケート

○どの様な作業に適すると思いますか。



○使用が困難な理由は。

- ・ 今の業務では、必要と感じない。
- ・ スーツの隙間に枝などが引っかかる。
- ・ スーツの価格が高い。
- ・ アシスト感があまり感じられない。
- ・ 体の可動範囲が狭まる

※回答95名

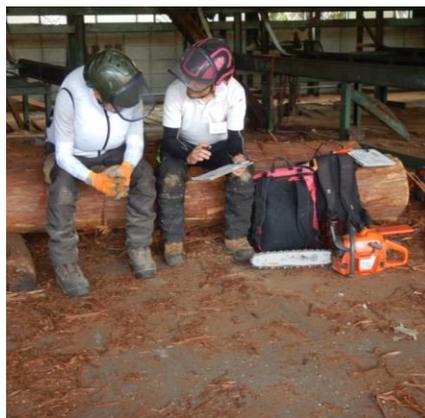
## 2 林業労働災害防止の支援

### ②労働安全に関する研修

#### ◆コーチング能力養成研修



講師から作業班長等への伐倒時のポイント指導方法の説明（前期）



作業班長等が前期に学んだ内容を、新人及び作業経験の浅い者に伐倒時のポイントを指導（後期）



#### ◆伐木技能向上研修



服装・保護具のチェック



伐倒練習



動画によるチェック



模擬試験(採点)

### ○労働安全に関する活動の成果

- ・ 安全な作業方法について、経営体内で意見交換する機会を設け、組織内での意識を統一化。
- ・ 作業上の重要なポイントや危険性・有害性を明確にし、対応策を組織全体で共有化。

### ○労働安全に関する今後の課題

- ・ 安全作業を実践するためには、林業経営体の作業形態等に応じた組織ルール（作業手順書など）を備える必要がある。
- ・ 安全衛生対策の確実な実行を推進するため、安全な作業技術や知識の習得に向けた取組を継続していく必要がある。